

拉致問題の完全解決に向けた国への要望活動

平成 25 年 7 月 25 日

人権・同和対策課

韓国メディア等による松本京子さんに関わる報道（7月16日）を受け、拉致問題の完全解決について、平井知事が関係府省へ要望活動を行いました。

1 実施日時及び要望先

府 省	要 望 先	日時・場所
内閣官房	古屋 圭司拉致問題担当大臣	7月23日（火）13:45～14:00 内閣府本府庁舎 大臣室
外務省	鈴木 俊一外務副大臣	同上 14:30～14:40 外務省 副大臣応接室

2 要望内容

韓国メディア等の報道によると、韓国の国家情報院が本県出身の松本京子さんの生存情報を示したとのことであり、拉致問題の解決に向けた国民の期待が一層高まっている。この機を逃さず、徹底した情報収集と事実確認に努めるとともに、不退転の決意で北朝鮮との交渉をすすめ、拉致被害者全員の帰国を一刻も早く実現すること。

3 要望者

鳥取県：平井知事、小林人権局長、梅田東京本部副本部長

4 概 要

(1) 内閣官房 古屋大臣との面談

- ①平井知事より要望内容及び松本 孟^{はじめ}さんのお気持ちを直接お伝えした。
 - ・様々な情報が度重ねて報道されるが、御家族は胸をかきむしられる気持ちに変わらないので政府として全力で解決に取り組んでいただきたい。
- ②古屋大臣の主な発言
 - ・御家族の心情はよくわかる。
 - ・平井知事がこうして熱心に度重なる要望活動をしていただいております、必ず取り戻すという決意で臨んでいる。
 - ・選挙が終わり、安倍政権のもとで全力であたる。
 - ・政府認定の有無にかかわらず、全員取り戻す。
 - ・ラオスで身柄を拘束された脱北者の中に松本京子さんの御子息がいたとする韓国紙報道（5月末）については、政府として事実ではないと断定した。
 - ・松本京子さんの居住に関する韓国聯合ニュースの報道（7月16日）については、確認が取れていない、信ぴょう性は低いのではないかと。

(2) 外務省 鈴木副大臣との面談

- ①平井知事より要望書内容を伝えた。
- ②鈴木副大臣の主な発言
 - ・安倍政権の基本方針である「対話と圧力」のもと、拉致被害者の安全確保及び即時帰国、拉致に関する真相究明、拉致実行犯の引渡しの方針に基づき全力を尽くす。